

**一般社団法人  
プロジェクト結コンソーシアム**

**第7期 事業報告**

自平成29年1月1日 至平成29年12月31日

## 1. 法人の状況に関する重要な事項

### 【法人設立の背景・目的】

震災で子どもたちの学び・遊びの場や機会が、大きく損なわれてしまいました。東北・日本の未来を担う子どもの成長の機会を一日も早く復旧させることはもとより、創造的で多様性に溢れる学び・遊びの機会を日本、世界の賛同団体や個人が皆で支える(やりたい人ができることをやれるだけ)ことができないか。また、子どもたちが主体性と希望に溢れ、自立心を持つ青年に成長する場に被災地を変革させることはできないか。そのような思いに基づき、私たちは一般社団法人プロジェクト結コンソーシアム(以下、プロジェクト結)を2011年に立ち上げました。

「被災地の教育の復旧≒震災前に戻す」ではなく、次代の成長を担う人材を豊富に輩出する「人材育成の先進地域」へと東北を再興し、日本における教育の新たなモデルを生み出す。震災後に立ち上げたにも関わらず、多くの教育委員会(23都府県・58市区町村の教育委員会等で構成される全国コミュニティ・スクール連絡協議会を含む)、地方自治体に賛同いただいたのは、上記趣旨への賛同が背景にあります。

プロジェクト名の「結(ゆい)」とは、日本古来に伝わる、田植え・屋根葺き等一時に多大な労力を要する農や生活の営みを共同作業で行う制度です。「結(ゆい)」という名には、官民や地域の垣根を越え、被災地の創造的復興に知恵と力を出し合い、子どもたちの成長を皆で支えたいという思いを込めています。同時に、「結」は本団体が提供する価値も表します。それは、子ども、ご家族、学校関係者など被災した方々の様々な学び・遊びへのニーズと、賛同企業・個人のノウハウを適切にマッチング(結び合せ)することです。被災地のニーズをていねいに拾い、提供側の「押し付け」や「一回限り」にならない、継続的で実効性の高い学びの機会を多面的・複合的に提供することを結はめざします。

### 【活動の概要】

2017年は、南境7団地のみで運営していた、「みんなの場」事業を3月末で終了しました。これは石巻市の仮設住宅の統合、復興住宅への移転など環境の変化に伴い、「みんなの場」を必要とする子どもたちが減ったことを勘案して終了したものです。これにより、同4月以降、プロジェクト結の活動は、市内の小中学校を対象とした「学校サポート事業」のみとなりました。

プロジェクト結は、2017年の活動テーマを「挑戦」としましたが、これには事業をやめる挑戦も含まれました。そして、ニーズが高く、かつ学校図書館に関する専門的知識や継続的な支援活動が必要とされる「学校サポート事業(特に図書整理)」に注力した活動を行ってきました。6年目の活動は、支援する側・支援される側がより密な関わりを持つ「協働」のステージへの移行がより進みました。プロジェクト結は、石巻市教育委員会や各小中学校の先生方、学校司書さん方、また地域外の学校図書館専門家との連携をより深めて、石巻市内に「子どもたちがよく利用する学校図書館」を拡げています。

## (1) 日常支援事業

「みんなの場」事業については、2017 年は南境 7 団地のみの活動となりました。1 月から 3 月までは、それまでの週 3 回開催を週 1 度に変更して、子どもたちの参加状況を見ましたが、復興住宅への移転などに伴う子どもたちの参加人数の減少に変化はなく、3 月末で同団地においても「みんなの場」を終了いたしました。これまで、パートタイムで働いてくれていた仮設住宅のお母さん方は、それぞれ地元企業など新たな職について働き始めておられます。

### [実施実績]

- ・ 開成団地 : 2011 年 8 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:10~15 名、2014 年 3 月終了
- ・ 押切沼団地 : 2012 年 6 月開始、週 1 回、子ども参加平均:4~8 名、2014 年 3 月終了
- ・ 東北電子 : 2012 年 9 月開始、週 2 回、子ども参加平均:10 名、2014 年 3 月終了
- ・ 大橋団地 : 2011 年 9 月開始、週 1 回程度、子ども参加平均:10 名 2015 年 12 月終了
- ・ 南境 7 団地 : 2012 年 3 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:15 名 2017 年 3 月終了
- ・ 向陽団地 : 2012 年 2 月開始、月 1 回、子ども平均参加:10 名、2015 年 8 月終了

※大橋団地、南境 7 団地は現地スタッフのみでの運営

## (2) 学校サポート事業

小学校・中学校の先生方が、より子どもと向き合える時間を確保できるようになることを目的に、2014 年 7 月に「石巻学校サポートセンター」を立ち上げ、活動を行っています。主な活動は以下の 3 つですが、現在は、①の学校支援の中の図書整理が、一番ご要望が多く、かつ専門的な知識が求められる活動になっています。

図書整理に関しては、プロジェクト結メンバー 1 名が、図書館司書資格を取得し、共に活動するメンバーや学校の先生方、学校司書さん方に、必要とされる専門的な知見やノウハウをシェアできる体制を整えています。

なお、2016 年 4 月より、初めて石巻市内に学校司書さん方 3 名が配されましたが、2017 年 4 月からは 6 名体制となり合計 12 校の小中学校で司書業務を行っています。プロジェクト結は、各学校司書さん方に対して OJT 研修に似た形で図書整理のノウハウを伝授するとともに、学校図書館の専門家を招聘した研修会を開催するなど、学校司書さん方と先生方の知識をより深くし、「子どもたちがよく利用する図書館」の実現を促進しています。

また、中学校の「職業講話(キャリア教育支援)授業」に講師を募集し、派遣する支援事業も継続して実施しています。

- ① 学校支援活動(図書整理・プール掃除の支援など)
- ② 教職員のための学びサポート
- ③ 教育に関する物品の貸し出しサポート

#### [主な事例]

- 学校の統廃合に伴う4つの学校図書館の引越しと統合 : 雄勝小・中学校  
(旧雄勝小学校、雄勝中学校、大須小学校、大須中学校の各図書館の引越しと統合)
- 学校図書整理 : 鮎川小学校、釜小学校、北村小学校、貞山小学校、中津山第二小学校、飯野川小学校、山下小学校、稲井小学校、鹿妻小学校、南方中学校、渡波中学校、桃生中学校、万石浦中学校、等
- 専門家を招聘した学校図書館研修会の開催 : 8月北村小学校にて(学校の先生方に向けて) 12月開北小学校にて(石巻市教委主催 学校の先生方、学校司書さん方に向けて)
- 職業講話(キャリア教育支援) : 桃生中学校、河北中学校、湊中学校 等
- 学校プール清掃 : 湊小学校、和渕小学校

## 2. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

当法人は監事設置一般社団法人であり、法令に定められている社員総会及び理事会を設置しています。

理事会は、8名で構成され、随時開催されるグループウェアやインターネット通話を通じた会議の中で、法令に定められた事項のほか経営に関する重要議案を決議しています。決議の内容は全て議事録としてグループウェア上に公開され、理事、監事の他、当法人の運営に携わるすべての主要メンバーに常時開示されています。

#### 【附属明細書】

特に事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。